

第3回教育創生フォーラム

2023年2月23日

ようこそ・おいでなんしょ  
500人の売木村へ



売木村上空 ドローン撮影

# 本日の話題

1. 売木村はここ

2. 人が育み、仕事を育む走るむらづくり

施策・取り組み

- ① うるぎ走る村プロジェクト
- ② 移住・定住・共住施策
- ③ 移住者の起業支援
- ④ 外部人材の移入・活用
- ⑤ 教育、山村留学

# 1 売木村はここ



総面積：43.5 km<sup>2</sup>

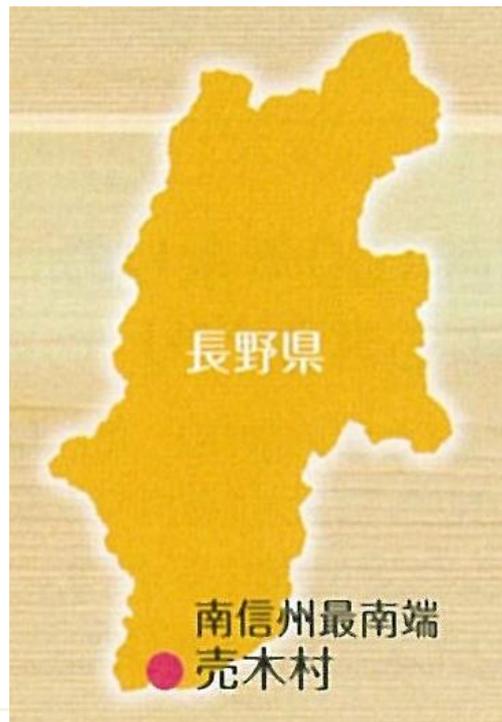
標高：820m

高齢化率：46%

2010年の人口：602人

2022年4月人口：500人

2022年度 一般会計予算  
1,193,190千円



こまどりの湯

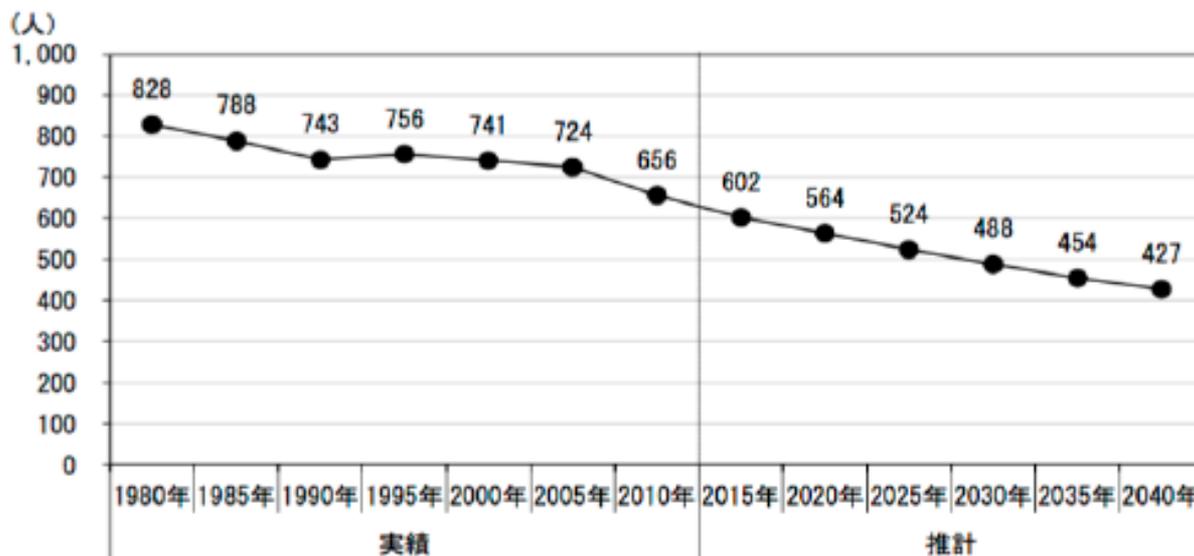


道の駅うるぎふるさと館

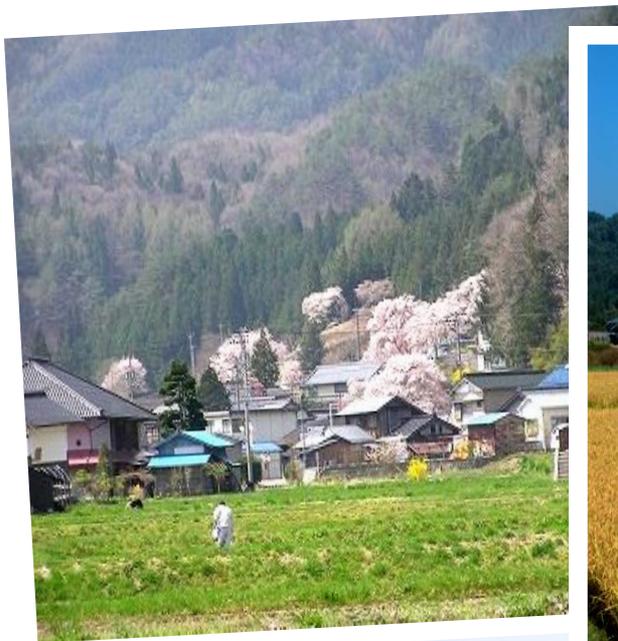


星の森オートキャンプ場

【人口推移と将来推計】



# 売木の風景 - 峠に囲まれた山里



## 2 主な村づくりの施策

### ① うるぎ走る村プロジェクト

スポーツ合宿、村民の健康・スポーツ活動、スポーツ観光

### ② 移住・定住・共住施策

共住推進員、テレワーク、空家の利活用、移住マッチング

### ③ 移住者の起業支援

道の駅、ガソリンスタンド、温泉、キャンプ場、農園

### ④ 外部人材移入、活用施策

企業、大学、団体、個人、地域おこし協力隊

### ⑤ 教育・山村留学

山村留学センター生活と農家生活

# 村づくりの施策



## ① うるぎ走る村プロジェクト

走るとは、各人が思いをもって目標に向かって走る(行動する)ことをいいます

## うるぎ走る村プロジェクト

# ウルトラマラソンランナーが売木村へ！

- 売木村の地域おこし協力隊としてスカウト(H24年12月)



# 走る村プロジェクトは

9

- ① プロモーション活動  
大会出場上位入賞しメディアによる、情報発信により売木村の知名度上げる
- ② スポーツ合宿の誘致  
地域資源を活かし、観光誘致をする
- ③ RUNイベントの企画・開催(地域健康づくり、マラソン大会、ランニング講習等)
- ④ 「スポーツ振興」「移住・交流」「健康づくり」「雇用創出」を行う

# 地域資源を活かす！ うるぎの強み

- ☞ 標高が800強m～1500m弱/準高地～高地エリア
- ☞ 起伏豊かな登坂だけでなく村中心部は平坦地形
- ☞ 真夏でも冷涼な地質
- ☞ あぜ道を利用した天然のクロスカンントリーコース
- ☞ 一級河川を利用したアイシング
- ☞ 中京圏・東海地区から2時間程度での来村が可能
- ☞ 温泉・道の駅・宿泊7施設・キャンプ場・満点の星空・里山・田園



# スポーツ合宿による地域への波及効果

## ❖ 地域経済効果

宿泊、飲食、農産物販売等の商い

## ❖ 交流人口効果

実業団、大学、高校、個人ランナーの来訪

## ❖ 地域振興効果

スポーツ活動のための環境整備

## ❖ 村のイメージ効果

村外へ、村内への「走る村」啓発

 「走る村うるぎサポーターズ」が発足した  
村内外の人が参加、ボランティアグループ

# スポーツ合宿実績数

- 2013年 373名
- 2014年 1415名
- 2015年 1558名
- 2016年 1695名
- 2017年 3053名
- 2018年 2880名
- 2019年 3015名
- 2020年 1433名
- 2021年 1512名
- 2022年 1335名



スポーツと観光の組み合わせを

# 地域の健康づくり ウォーキング(ノルディック) ランニング教室が生まれた



村の自然がトレーニング環境になる

# 2022うるとRUN・ イベント開催



この日は村の全域がコースとなる

## うるとRUN

URUGI TRIAL RUN

2022.10.9日  
9:00 START

第7回  
開催

山並みを  
駆け抜ける

21.0975 km

エントリー期間 2022年6月1日(水)～9月16日(金)

● 定員に達し次第締切 ● 申し込み方法詳細は裏面に記載

協賛  
 飯田信用金庫、株式会社築駒観光、フナチナ子屋株式会社、ヨネックス株式会社、マルサライ株式会社、Badminton Club house Chick、KITTAPE JAPAN、FlipBelt JAPAN、TEAM THE HORIZON、海辺ローソク

放送  
 長野県、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、長野朝日放送、東海テレビ放送、岐阜毎日新聞社、南信州新聞社、中信新聞社、長野エフエム放送、飯田エフエム放送、月夜クワン情報いいた、南信州広域連合、下伊那郡町村会、売木村商工会、売木村教育委員会

主催：うるぎトライアルRUN実行委員会  
 〒399-1601 長野県下伊那郡売木村968-1 (売木村役場内)

お問い合わせ ☎ 050-3201-6783 ✉ urugirun@gmail.com  
 〒465-0077 愛知県名古屋市長区植園町2-1-2-103



## ② 移住・定住・共住施策

- ❖ 現在、売木村の住民の三分の一が移住者
- ❖ 共住施策に取り組んでいる（移住者と現住者が共に住み続けるための集落対応策、「移住・定住・共住支援事業推進アクションプラン」の実施）
- ❖ 7集落（地区）に5名の共住推進員を配置（お世話人）
- ❖ 共住ガイドブックの制作（愛知大学との共同事業）
- ❖ 空家の利活用（住居利用、テレワーク施設、お店）
- ❖ 移住マッチング事業（起業支援、地域おこし協力隊）
- ❖ 売木村移住定住支援事業推進委員会活動

### ③ 公設民営、移住者の起業支援 組み合わせ仕事



# 村での起業/主な顔ぶれ

- ❖ 村民が起業
  - 有) ネットワークうるぎ
  - 株) うるぎホープ
- ❖ 公設公営(民営)
  - 自然休養村・ささゆり荘
  - こまどりの湯(売木温泉)
  - 道の駅・南信州うるぎ
  - 売木国際センター
- ❖ 移住者起業(民間)
  - ゲストハウス・ポレポレ
  - 彩農園
  - 花の谷農園
  - のの庵
  - ミラベル
  - メグリブ
  - TAKARAチーズ工房
  - 小林建築
  - ステラ～スノーキャンピア
  - 一社)木の芽
  - STUDIO HALU
  - うるぎマルチ
  - うるぎキャンプフィールド

移住者が起業・経営者に



村の資源再発見・再生事業に

# 村の新しい資源・農と食



❖ 2014年

福井県池田町からヤギ農家の後藤宝さん移住

❖ 2016年

ヤギミルクの特産品化、ヤギミルク工場開設  
チーズ工房開店(2020年)

なかなかチーズ工房は建たず、ほぼ諦めていたところ、村で自然を利用し、村独自の産物が産まれることに期待をしてくれた方々が多額の出資をしてくださり、チーズ工房の建設ができた。移住6年目。  
(店主)



# TAKARAチーズ・ブランド

メー (Meee)



これぞヤギ!という風味、  
ホックリとした食感

フレッシュ (Frais)



クリームチーズのさっぱりと  
した感じ、さわやかな酸味

**\* 2017年～**

**都会と田舎を繋ぐ！ 企業連携 心のデトックス事業**

**古民家再生プロジェクト・人と自然が共存する暮らし方**

五右衛門風呂



太陽熱温水



事業主体は、売木村と村内外の有志  
によるチームの協働



コンポストトイレ

# うるぎHalo岡田屋

# 開業R4年6月19日

## 2021年度地方創生テレワーク事業(内閣府)



写真両端の女性が起業



事業主体は、民間企業の「一般社団法人・木の芽」  
(2021年9月、売木村内で設立された)



休憩スペース



交流ワークスペース

# インバウンドで村おこし「うるぎ国際センター」



古民家を「うるぎ国際センター（UIC）」として改修、国内外からの集客を狙い、活動中。

（集落支援員/五月女・ニサー・アレクサンダーさん）

2020年にゴゲ. ファブリス. ジルベルト. クリス  
ティアンさん移住  
(フランス料理・ミラベルを開店)  
地域おこし協力隊)



地元食材活用「仏料理・ミラベル」/空き家の利活用

# 地元村民が起業/農業生産法人ネットワークうるぎ



# 事業-活動

# 村の人口増にも貢献！



| 夕ターンの祝言 (地域での合同結婚式)

# 都市との交流 / うまい！うるぎ米そだて隊 農業法人・ネットワークうるぎ



村長はじめ、村民5人で発足し、  
2006年からスタート



遠くは群馬、大阪や  
神奈川からも参加

## ④ 外部人材の移入・活用施策

### ❖ 外部人材の力は❖

都市生活者   民間企業人   大学人   団体人   子ども  
私人・個人   移住者   若者

### ご縁をいただいている方々/ 関係人口

- ❖ 移住者（村民の約40%が移住者）
- ❖ 大学・学生
- ❖ 民間・企業人、都市生活者
- ❖ 地域おこし協力隊
- ❖ ふるさと納税者   ❖ 企業ふるさと納税者
- ❖ 山村留学
- ❖ イベント参加者

# 民間企業の力を借りて

👉『ミューチュアル・エイド・セオリー』社(東京都)

2019年12月6日:「災害支援協定」締結、支援物資セット(ガーディアン72)

👉『ミダック株式会社』(静岡県浜松市)

2021年7月5日:「売木村とのSDGs推進に係る包括連携協定」締結

2022年4月1日:「災害廃棄物処理等に関する協定」締結

👉『コマタ株式会社』(神奈川県横浜市)

2019年4月1日:「地上設置型のコンテナ式給油所の使用貸借協定・契約」締結

👉ふるさと納税(企業版)

『ミダック株式会社』『デロイトトーマツ合同会社』『都市テクノ株式会社』

# 静岡県浜松市 ミダックホールディングス



- 2021年7月5日  
『売木村とのSDGs推進に係る包括連携協定』締結
- 2022年4月1日  
『災害廃棄物処理等に関する協定』締結

## 村の暮らしを守る、生活インフラの整備

- ❖ 全国初の「コンテナ式給油所（地上タンク）」
- ❖ 型式：地上設置型のガソリンスタンド  
（P S：ポータブル-スタンド）
- ❖ 油種：ガソリン ハイオク 軽油 灯油
  
- ❖ 経営は、売木村ガソリンスタンドを残す会  
店名：『うるぎ600道の駅前店』
  
- ❖ コモダ株式会社と使用貸借の協定・契約

# 経済産業省の特定地域での実証事業（2019年）



売木村ガソリンスタンドを残す会  
うるぎ600道の駅前店（2020年開店）

# 外部人材を活用した村おこし

\* 大学との連携 \*

愛知東邦大学

愛知大学



産業能率大学  
(東京自由が丘)

【利用・うるぎHalo岡田屋】  
旭・中央地区の方々と交流  
(困りごと調査の中間報告)



2022年10月8日の夕べ 愛知大学地域政策学部 岩崎ゼミ

## ⑤ 売木村の教育・山村留学

売木小学校児童

R3年度 28人(12人山留生)

R4年度 26人(9人山留生)

売木中学校生徒

R3年度 16人

R4年度 16人



売木村の山村留学事業がスタートしたのは**1983(昭和58)**年。日本で初めて山村留学に取り組んだ教育団体「公益財団法人育てる会」の運営で始まりました。

事業の核となるテーマは、「やる気・気力・活力・生活力・生きようとする力を養うこと」。この**38年**の間に、**370名余**の修園生が売木村から巣立ち、全国各地、世界で活躍しています。

**2012(平成24)年**からは、**村直営「売木学園」**となり、地元の催事に積極的に加わったり、スポーツや芸術のプロから直接指導を受けています。

何でも揃っていると思われがちな現代社会ですが、大地とともに生きる人々と過ごし、自然の営みの中で自らの感性を育てる暮らしは、なかなか経験できるものではありません。

子どもたちの人生にきっとプラスエッセンスを注いでくれるはずです。ぜひ、はじめの一步を踏み出してみてください

# 売木村山村留学/売木学園



## 農家での生活



## センター生活

# 学習塾「花まる学習会」との連携授業開始

2017年4月より連携による  
授業を開始



## 売木村の地域課題

- 1 村人の意欲の創発(人心)
- 2 現住者と移住者が共住へ(生活)
- 3 集落の維持・持続(地域運営)
- 4 農と組み合わせ仕事・起業(経済)
- 5 暮らしの安心・安全、地域の福祉

現在取り組んでいる主要な村づくり計画

- ❖ 売木村まち・ひと・しごと総合戦略
- ❖ 売木村過疎地域持続的発展計画
- ❖ 地域再生計画
- ❖ 南信州定住自立圏共生ビジョン・計画



みんな おいなんよ  
ご清聴ありがとうございました

